

## 株式会社野尻金属様が「SDGs宣言書」を策定されました！ ～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、株式会社野尻金属様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

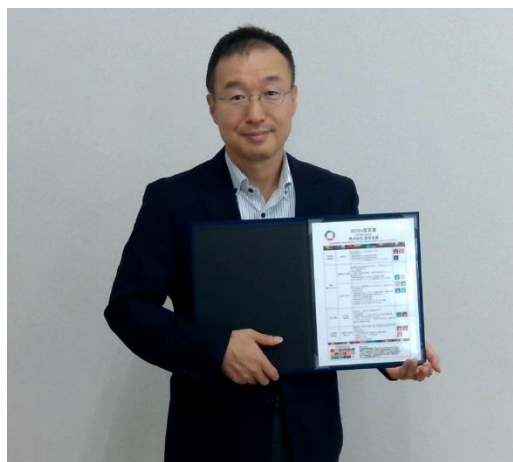
本サービスは、対話を通してお客さまのSDGsへの取組状況の確認と、経営課題の見える化を行うことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行企業	株式会社野尻金属
代表者	代表取締役 野尻 勝志
所在地	福島県大沼郡会津美里町字宮里21
事業内容	非鉄金属の精錬、加工、販売及びリサイクル
企業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1972年に創業して以来、金属のリサイクルを通して、お客さまの課題解決に取り組んでまいりました。</li> <li>●今後も持続可能な製品、持続可能な事業活動を推進し、地球の環境を守るための仕事を展開してまいります。</li> </ul>



宣言書を手にする野尻社長



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。



# SDGs宣言書

令和5年9月25日

## 株式会社 野尻金属

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
内部管理 組織体制	経営理念	資源の循環を通して、より良い未来をつくります。 【具体的な取組み】 ・金属資源の循環による持続可能な社会の実現 ・持続可能な製品と持続可能な事業活動の推進 ・エコアクション21による環境経営マネジメントシステムの活用	  
環境 製品・サービス	循環型社会への貢献	環境負荷の少ない非鉄製品の製造・販売により、お客さまのリサイクルやグリーン調達に貢献します。 【具体的な取組み】 ・工場発生した金属副産物を原料に、二酸化炭素排出量の少ないリサイクル製品を製造・販売 ・原料や製品の運搬にともない発生する産業廃棄物の削減 (鉄缶の往復利用、フレコンバックの複数回利用、パレットの返却等)	 
	脱炭素・省エネ	自然エネルギー及び再生可能エネルギーの導入により、二酸化炭素排出量の削減に貢献します。 【具体的な取組み】 ・生産性を高めることで、エネルギーを効率的に活用し、環境負荷を低減 ・事業所の電力の一部に自家消費型太陽光発電を導入 ・自然エネルギー由来の電力の購入 (会津事業所で約270 t/年の削減) ・当社が排出するCO <sub>2</sub> の約2%をカーボンオフセット実施 (新潟津南町 10 t/年、北海道下川町 20 t/年)	   
人権・労働	安全衛生 健康経営	安全を第一とし、健康で活力ある職場を作ります。 【具体的な取組み】 ・安全会議の開催、KYT活動、安全パトロール等の安全活動の推進 ・研修やOJT等による安全衛生に対する教育 ・メンタルヘルス、ハラスメント、心理的安全性等を含めた、従業員の健康管理、職場環境改善の推進	 
社会貢献 地域貢献	地域経済への貢献 地域づくり	事業活動により得られた利益の一部で、持続可能な社会の実現に資する投資を行います。 【具体的な取組み】 ・当社の事業活動に賛同する地域内人材の積極的な採用 ・職業体験、インターンシップ等の実施 ・地域自治体への寄付 ・脱炭素・省エネへの設備投資	  



### SDGsとは

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール(目標)と169のターゲットのことです。2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。